

A C E 同窓会会報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
番田市陣中町1-21-1
TEL <0565>32-8181



校長 長松 英 夫
校 竹

校長ご挨拶

この三月に第五回の卒業生を送りました。

卒業生が本校で学んだことを一つの契機として、豊かな人生を切り拓いていただけることが教育者としての私の願いであります。

従って、毎年「卒業生だより」で若い皆さんがそれぞれの持ち場で頑張っておられることを知ることは何よりの喜びであります。

毎回、堅い話ばかりで恐縮ですが、これは教育者の性というものでしょうか。

「愚公山を移す」という箴言があります。昔、愚公という人が中国の北山というところに住んでいた。家の前に大きな山がそびえ立ち、どこへ行くにも遠回りしな

ければならない。あまりの不便さに、九十歳が近づいた頃になって、山を他所へ移そうと決心し、家の者の猛反対を押し切って、山を崩し始めた。そして、昔の嘲笑をものともせず、私が死んでも子供がやる。子供が死ねば孫が引き継ぐ。いつかは削り終えるだろう、ととりあわなかった。そして山はなくなつたという。

何事も怠らず、努力すれば、必ず成就するというこの喩えです。

しかし、何を努力するにつけても大事なものは健康です。会社も個人も、現在を過ごしているのです。過去のことを悔やんでも、これから取組むことを悔やんでも、これからは無駄なこと。嫌なことは忘れるのが、健康のもとです。

陽気な顔をして、明るい話題で、現在取り組んでいる事柄に一生懸命努力を継続すれば、90%は成功するのではないのでしょうか。今のことに最大のベストをつくし、「今日のことは一見落着、これでおしまい」と、今日一日の無事に感謝して寝て明日の英気を養うに勝る人生の幸はないと思います。

同窓会実施

平成九年九月二十八日に平成九年度の同窓会総会を学校で実施しました。

平成八年度収支報告と平成九年度予算案が可決されました。

総会後の懇親会は学校近くの「ニューヨークパブ」というパブで行いました。お酒もあり大変盛り上がりました。出席者は三十三人でした。

下は記念写真の一部です。次回も楽しい合わせて、多数の方々が参加されることを期待しています。



求人・就職率

平成九年度卒業生に対する求人企業数、求人数および求人倍率は、七百五十五社、二千四百六十八人および二七・六倍と好調でした。設備投資意欲の回復、大学との就職協定の廃止などの影響のためか、求人票の提出が早く、四月末の時点で三百社を上回りました。

資格取得状況

平成九年度の資格取得状況を左表に示します。情報処理活用能力検定試験の2級の合格率は大幅に上がり63%を達成しました。

アジタル技術検定試験と「Lotus」に表計算処理能力検定試験の受験者が増加しました。試験は平成九年度より新しく受験しました。

試験の種類	1級	2級	3級	4級	計
1 第2種情報処理技術者試験					1
2 情報処理活用能力検定試験		20	35		55
3 情報処理技術者能力検定試験	5	15	12		32
4 C言語プログラミング能力検定試験		9	18		27
5 Illustratorクリエイター能力検定試験			19		19
6 Photoshopクリエイター能力検定試験			3		3
7 アジタル技術検定試験			5	1	6
8 C.A.D.利用技術者試験		16			16
9 トレーニング技術検定試験	2				2
10 日本語文書処理技術検定試験			13		13
11 日本語ワードプロセッサ検定試験			11	1	12
12 Lotus1-2-3表計算処理能力検定試験	1	1	9		11
13 日本語ワープロ検定試験		2	11		13
14 簿記能力検定試験			5		5
15 簿記検定試験			1		1

平成九年度入学式

平成九年四月九日に本学にて行われ、76名が入学しました。少子化の影響で専門学校入学者が減少するなか、選抜できる専攻コースの多い情報工学科とCAD・CAM学科に学生が多く入学しました。

- 高度情報 9名
- 情報工学 33名
- 電子制御 6名
- CAD・CAM 25名
- コンピュータビジネス 3名

平成九年度卒業式

平成十年三月十九日に本校にて行われ、87名が卒業し、専門士の称号が与えられました。

同窓会長賞には、母校より推薦を受けた、経営情報コースの國立剛史君が受賞し、当日、上島副会長より、賞状とアルバムが手渡されました。

- 情報処理 24名
- システムエンジニア 12名
- 電子制御 15名
- CAD・CAM 30名
- 経営情報 6名

卒業生だより



情報処理コースH9年卒
大 竹 雅 仁

先輩達に負けず

私は、平成九年四月にコンピュータシステムエンジニアリングに入社し、同年五月市内某社に派遣されました。主な業務は、ホストコンピュータやネットワークコンピュータの運用などのオペレーション業務が大半で、具体的には、処理の起動や、処理の異常終了などの障害発生時の対応、ネットワークコンピュータを介してのデータのやり取りの監視や、時には、システムに関するJCLの作成など、S.E.的な業務を行っています。

最初、配属された当時は、何もわからずオドオドしていましたが、今は一通り業務をこなし、障害発生時の対応なども一人前に行えるほどになりました。しかしまだまだわからない事だらけですが、最近、新しい事にチャレンジしてゆく楽しさを感じ、とても充実しています。

日々を過ごしています。

とまあそんなわけで、初めは何もわからなくて当り前。だからこそ、探求心をむき出しにし、一つでも多くの事を学んでいき、先輩達に負けず、逆に勝つつもりで一生懸命がんばっていると思う今日この頃です。

(株)CSE勤務



システムエンジニアコースH9年卒
藤 川 信 義

作業と仕事

入社してから六ヶ月間の研修を経て、僕は今、東海法人営業本部のシステム技術部という部署で、そこで開発したマルチアクセスサーバ(パソコンと電気通信回線を利用して多数の相手先の端末に情報の送受を行うシステム)のシステムカスタマイズや販売支援等をやっています。

このシステムは主に、災害等の緊急事態での社員の安否確認や、銀行のCDコーナーでのお客様への機械の故障連絡等に使われています。

ます。

今はそれほどではありませんが、配属当初は納品の期限がせまっていたので、着任したその日から毎日残業だったり出張に行ったりと忙しい日々でした。

「作業でなく仕事ができるようになれ」と先輩方に言われます。言われたことをそのままするのでなく、自分でやるべきことをする仕事ができるようになれということなのですが、ここに来て四ヶ月まだまだほとんどが作業です。早く仕事ができるようになるためにスキルを上げて頑張っています。

日本電信電話(株)勤務



電子制御コースH8年卒
瀧 美 雄 大

学生と社会人の両立

私が社会人となって早くも二年が経ちました。やはり学生とは違いますね。

何といっても社会人である以上自分に厳しくなくてはいけない、自己管理ができなくてはならない、これが何と云っても辛かった。職

場でも上司から、「ここは学校じゃ

ないんだから、わからないことは自分から聞かないと誰も教えてくれないぞ」とよく言われました。何度か「嫌だな」と思いましたが、最近やっとそれがわかるようになってきました。やはり、こうやって本当の社会人になっていくのでしょうか？

でも、そんな私も、家へ帰れば学生になります。なぜなら、私は通信制の大学に通っているからです。毎晩、参考書を見ながらレポートを書いたり、テストの為に勉強をしています。休みの日には、スクーリングの為、学校に行ったり、大学のサークルの野球チームの試合や練習などの為に、毎週のように大阪へ行っています。仕事、大学、野球と大変忙しいですが、すごく充実感があります。ちなみに、野球での目標は早くレギュラーに定着することです。

(株)鈴鹿テクノト勤務
近畿大学法学部在学



CAD/CAMコースH8年卒
小 川 智 也

金型加工のNC化

私の会社は主にトヨタ、三菱自動車等の樹脂金型の設計から組立までの総合工場です。入社して半年は設計に携わり、その後はCAMに移り一年半になりました。

CAMグループの内容は、主にサーフェスマデリング、ソリッドモデリング、加工機ごとのNCテープの作成と編集、グラフィイト加工、ワイヤーカット加工などをしています。私はサーフェスマデリング、グラフィイト加工、NCテープの編集の仕事をしていますが、金型の構造が充分把握しきれず、まだまだ戸惑っています。

近年、経済的な面と時間の短縮などの理由でお客様の要望も多くなり、昔からの古いモデルが廃止方向となり、金型加工はNC化が急速に進んでいます。現在、社内ではNC化について何度も会議が開かれそれに伴う設備投資も行われつつあります。

学校では基礎知識は学習してきたつもりですが実際はわからないことばかりで、よく上司や先輩に迷惑をかけてまいりました。三年目を迎える今日も毎日勉強です。

ソコカテクノ(株)勤務

無駄のない学生時代を

私が入社してから、もうすぐ二年が経過しようとしています。



経営情報コースH8年卒
川 端 洋

卒業するときは、この愛知工業大学情報電子専門学校で二年間、学んできたことを活かせる職場、事務系の職が希望でした。

しかし、実際今勤務している部署は、住宅営業で、通常業務するにあたっては、学んできたことほとんど関係なくなってしまう。だけど、全く役に立っていないわけではありません。

今の時代、コンピュータを使用することは、当り前のことになっていますし、文章を書くにも手書きではなく、ほとんどがワープロ打ちになっています。お陰様で、仕事の能率がよく、会社の中では重宝されています。

又、学生時代、資格取得に色々チャレンジし、資格の取り方のコツをつかみ、今年、宅地建物取引主任者の資格を取得することができました。

この世の中、どこかで何かがあるがっていることが分り、二年間の学生時代も無駄ではなかったと思ひ、とても感謝しています。

大和ハウス工業(株)勤務

学科だより

高度情報学科 情報工学科

教授 鳥 悦郎

卒業生の皆様お元気ですか。今年も学科だよりの原稿を書く時期が来ました。この頃特に感じることは、卒業生の皆さんの成長が早いと言ったことです。

本校に立ち寄って下さった卒業生諸君との会話を通じて、しっかりと考えたや豊富な知識の一端に触れると嬉しくなります。皆さんが社会に出て、一生懸命頑張られておられるのだから、私ももっと頑張らねばとの気持ちだけはあります。行動が伴いません。何か良い方法がないものでしょうか？

情報処理の技術は日々刻々と進歩しています。プログラミング言語一つを取ってみても、C言語からC++言語、java言語へと主流が移りつつあります。

皆さんも仕事をこなしながら、新しい分野を勉強することが日課になっておられることと思います。が、いかがでしょうか？

情報学科の卒業研究でも新しいアプリケーションの活用が見られ

ます。

今年度の卒業研究テーマでは、Visual BasicやVisual C++によるゲームソフト、DIRECTOR(アニメーション作成出来るオーサリングソフト)を使った学校紹介CD-ROMの作成、Microsoft ACCESSを使った企業用給与システムの作成や広報システムの作成、などです。ACEのホームページ作成では、java言語も使って作成しています。

学科構成も進化させ、今の情報学科を、情報のスペシャリストになるために3年間(情報の予備知識のある人は2年間)でじっくり勉強する高度情報学科と、2年間でそれぞれのビジネスシーンに特化した技術・知識を学ぶ情報工学科に分割し、時代の流れに即応したつもりです。まだ、一年しか経っていませんので、その成果は分かりませんが、入学者は、漠然とした将来ではなく、はっきりした目標に向かって勉強できるになり、良かったのでは無いかと自負しております。卒業された皆様からもこうすべきだ、と言った提案があれば是非お聞かせ下さい。置頭にも書きましたが、企業に

お邪魔したときに、ACEの卒業生が仕事を任されて海外へ出張しているなどの話をお聞きするようになりました。嬉しい限りです。皆様の今後の益々のご活躍をお祈り致します。

電子制御学科

教授 半村 久雄

電子制御学科の現在の様子をお知らせします。まず学科名ですが、電子機械学科の電子制御コースが、平成9年度の入学生からは、電子制御学科として独立しました。

平成10年三月に卒業予定の学生は15人ですが、今年度も求人が多く、暮のうちに校内トップで全員就職が決まりました。

さて、毎年新しいテーマを取り入れている「卒業制作」で、今年度の目新しいものは下記です。
・「DOS/Vパソコンの製作」
は、電子制御では、「コンピュータを使うだけではなく、作ることでやろう」という目論見で取り上げました。これは、良い部品があつたため、順調に動作しました。

・「マイクロ・マウスの制作」は、ロボット競技会に使う、小型自動走行ロボットを製作するものです。競技では、壁でかこまれた迷路の中で、マイクロ・マウスが道を探しながらゴールまで自動走行する

ものです。マウスは完全にコンピュータ制御で動き、競技中に人間の手出し禁止です。今はマウスがとどき壁にぶつかって止まるという走行状態です。来年度は、もっと改良して競技会に出場したいと考えています。

・「インターネット・ホームページの製作」は学科を紹介する独自ページを作っており、ACEの現在のページに追加する予定です。

最後に、資格試験対策も段々と強化しており、今年度は「漢字検定」、「デジタル技術検定試験」を全員で受験しました。さらに、来年度は通信関係の「工事担任者試験」も加える予定です。

CAD・CAM学科

教授 橋本實之祐

今回の便りを書くことに当たって、先回の会報を見ましたら、「厳しい状況ではありますが、谷底は超えたような気がします」と書いてありました。しかし、残念ながら一層厳しい状況になっています。

CADの仕事が少なくなったのでCADの仕事を実に行っていますという話の一方、忙し過ぎるから会社辞めたいとか、やはり忙し過ぎるから辞めましたという話も聞きますので会社によってかなり違うようです。

激動の時代、もう少し先行きが見えるまで今の職場で頑張っておられるほうが良いと思います。

学科の状況ですが、平成9年度から卒業実習(担当「柳橋」という科目を設けて、何でも好きな題材を手書き及びCADでそれぞれ二次元と三次元の計四枚の図面を書いて貰うことにしました)。

学生の評判は聞いていませんが、技術力向上に大変役立ちそうなので今後も継続強化の予定です。就職の状況ですが、求人は過去最高でした。

先聲がある会社に内定したのは、昨年同様トヨタ自動車、ハイテックス、池上精工、東和樹脂工作所です。他は今年度も新しく開拓した会社です。従って、私が訪問する会社は新しい会社ばかりになっています。

最近では女子に対する求人が増えてきたので、女子を主体とした一年コースを作るべく検討を進めています。表現の折には、是非学校にも立ち寄って下さい。

ビジネス情報学科

助手 河合 忍

卒業生の皆様には、ますますご活躍のことと大変嬉しく思っております。今春には、第五回生が社会へと巣立ち、皆様の仲間入りを致します。

開校からわずか六年間ですが、社会情勢、技術の進歩発展には、目を見張るものがあります。社会でご活躍の皆様なら、よくご存じのことと思いますが、インターネット等の普及により、ビジネスの形態もめまぐるしく変化しております。

そこで、平成10年四月からは、学科名をコンピュータビジネス学科と改め、コンピュータグラフィックス専攻、マルチメディアクリエイト専攻で新たにスタート致します。「なぜビジネス系でCGやマルチメディアなのか」と不思議に思われる方も多いことと思います。近頃では、コンピュータとは無縁だった、町の小さな和菓子屋さんが、お菓子のデザインはCGを利用して行い、また、ホームページを開設して、世界中の人々を相手にビジネスができる時代になりました。

このようなビジネス形態の変化に応え、「従来のからのビジネス知識+マルチメディアを自在に操り、的確な情報を発信できる能力」を養います。マルチメディアビジネスを創造できる人材の育成を目指します。

社会経験をつまれた、卒業生の皆様のご活躍の様子を、お聞かせいただきたいと思っております。是非一度、母校へ足を運んでみてくださいます。

トピックス

新学科構成紹介

平成九年年度、及び平成十年年度に
変更になりました新しい学科構成
を左記に示します。
多様化する情報分野に対して学
生が志向する分野の勉強が出来る
ように多くの専攻を設けました。

科目等履修制度

平成九年年度より、社会人や大学
生が希望科目のみ在校生と一緒に
授業を受けることが出来る制度が
設けられました。
この制度で履修終了又は三月に
終了予定の履修生は合計八名で、
四月以降も継続及び新しい予定者
は計五名です。

軽スポーツ大会

昨年の春は例年通り豊田市の体
育館での球技大会でしたが、秋は
青少年公園で軽スポーツ大会と銘
打ってバーベキューの昼食を楽し
みました。晴天に恵まれ、サッ
カーやバドミントン、フリスビー
などに思い思いに興じました。



新任者

教授 中島 勳
科目 一種応用システム
マルチメディア
インターネット概論
プレゼンテーション技法
表現技法
電気演習

平成九年四月新任

クラブだより

野球部

二年ぶりの勝利！
今年度の夏の大会において、前
年度優勝校（キクチ眼鏡専門学校）
をサドナスの末、さよならで破
り一回戦を突破。優勝投手から五
点をとつての勝利にチームは活気
づいた。しかし、その後、雨が続
き、三週間も延びてしまった。そ
の結果、チームも勢いを失い、二回
戦で敗れた。夏休み中、選手の気
持ちは持続させることの難しさを
痛感した。三月九日から稲水公園
野球場で行われる春の大会には参
加予定ですが、夏の大会以降はほ
んど練習をしていないのでクジ
に期待。昨年末、初代OBからの
誘いで忘年会に参加し、発足当時
のことを話した。今年、OB、
現役の親睦試合を計画したい
ので参加希望者は連絡してくださ
い。（監督 山田 一敏）

サッカー部活動状況

平成十年二月現在、部員十一名
で、愛知県専門学校蹴球連盟・春
季大会に向け、練習に励んでいま
す。初戦は不戦勝のため、二回戦
からの出場となり、名古屋経情

新任者ご挨拶



教授 中島 勳

報専門学校堀田校とキクチ眼鏡専
門学校の勝者と対戦します。初戦
を突破すれば、本校初のベスト四
入りが実現するとなり、部員一同
燃えています。
なお、初戦は、三月二十五日に
鶴舞公園陸上競技場において
午後一時キックオフの予定です。
先輩方の期待に添えるよう頑張り
ます。（顧問 河合 忍）

パソコン通信クラブ

現在のパソコン通信クラブ部員
数は八名です。インターネットを
使って好きな情報や便利なユー
ティリティツールをダウンロード
したりして活動しています。活
動時間は、放課後戸締り当番の先
生方が帰られるぎりぎりまで熱中
して、楽しく活動しているよう
です。彼等の興味の対象が私（顧問）
と全く違うため、彼等の中に入っ
てゆけないのが現状です。
卒業生の皆さんもたまには本校
にお越しください、在校生との交
流をお願い致します。
本校のホームページ、電子メー
ルのアドレスは以下の通りです。
URL：
<http://www.aitech.ac.jp>
電子メール：
aac@ac.aitech.ac.jp

右脳の時代とか、イメージの時
代とかと言われ常に頭を柔軟にし
て斬新な創造力をもった人間が求
められています。
変化の激しい世の中で、常に一
歩先を考え、自分の意見をしっか
りと述べられ、世の中のリーダー
となる人間が一人でも多くACE
から巣立っていくことを望んでい
ます。

工業専門過程		商業実務過程
三年生	二年生	
高度情報学科	情報工学科	電子制御学科
一種資格取得専攻	システムアドミニストレータ専攻 インターネット専攻 マルチメディア専攻 CADエンジニア専攻 コンピュータ制御専攻 プログラミング専攻 システム構築専攻 一種資格取得専攻 システム構築専攻 一種資格取得専攻	CAD・CAM学科 コンピュータグラフィックス専攻 マルチメディアクリエイティブ専攻
情報システム専攻	システム構築専攻 一種資格取得専攻 システム構築専攻 一種資格取得専攻	コンピュータグラフィックス専攻 マルチメディアクリエイティブ専攻